

第二期における取組
(H2024年度)

4つの視点

- ◆社会基盤としてのITの安全性・信頼性向上
- ◆国際競争力の強化

- ◆世界に通用する高度IT人材の育成
- ◆ユーザの目線に立った事業運営

●ITの安全性向上に向けた情報セキュリティ対策の強化

- ・ウイルス・不正アクセス対策
- ・脆弱性対策／評価認証制度
- ・サイバー情報共有イニシアティブ等

●情報システムの信頼性向上に向けたソフトウェアエンジニアリングの推進

- ・開発手法・管理信頼性向上の手法
- ・文字情報基盤の環境整備
- ・Rubyの国際規格化等

●IT人材育成の戦略的推進

- ・「ITパスポート試験」の創設とCBT方式による試験の実現
- ・「共通キャリア・スキルFW」第1版
- ・「セキュリティ・キャンプ」等

●業務運営の効率化

- ・機動的・効率的な組織体制の整備
- ・より競争性・透明性の高い契約方式への移行
- ・業務経費等の削減
- ・自己収入拡大への取組等

IPAをめぐる最近の状況

①社会におけるITの役割とニーズの変化
(→国民生活、経済活動に不可欠な基盤)

- ・経済活動の効率化、省エネルギーを推進
- ・大量データ(※)の収集・分析・処理による社会的課題の解決

②「日本再生戦略」の決定
(→日本再生に係るITへの高まる期待)

- ・ITのセキュリティ強化に配慮した利活用
- ・強固な情報通信基盤の確立

③「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」の決定
(→官民の適切な役割分担)

- ・国が実施すべきもので、かつ裨益者が特定者に限定されない事業への重点化

④「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」の決定
(→新たな組織体制等の見直し)

- ・必要な業務の整理
- ・相乗効果が発揮できる事業の特定
- ・連携の強化

(※)例えば、地質情報、製品事故情報、時間帯の発電量等の公共データ

組織・業務全般の見直しの方向性

<事業の重点化>

(1)社会基盤としてのITの安全性・信頼性の向上

- ◇新たな脅威への迅速な対応等の情報セキュリティ対策の強化
- ◇社会全体を支える情報処理システムの信頼性向上に向けた取組の推進
- ◇国際的な制度協調、情報統合化社会における標準的技術基盤の形成

(2)ITによる社会基盤形成、イノベーションのための高度IT人材の育成

- ◇ITインフラを支える技術者の高度化とIT利活用人材の高度化

<組織・業務の見直し>

(1)産業技術総合研究所、経済産業研究所との統合

(2)その他業務全般に関する見直し

- ◇中期目標等における業務の重点化や効率化に向けた取組の明確化等
- ◇効率化目標の設定及び総人件費改革
- ◇契約の健全性の維持
- ◇自己収入の増加
- ◇広報戦略の強化